

つるのおんがえし



36号 平成23年4月発行

発行:感動・創庫
〒259-1211
平塚市ふじみ野2-14-6-101
TEL/FAX:0463-67-1896
mail:info@kando-soko.com
http://kando-soko.com
発行編集責任者:芦川永光

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震。ここで亡くなられた多くの方のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての皆様へ、心からお見舞い申し上げます。



元気出して行きましょうね!

こんにちは、感動・創庫(いせはらポスト)の芦川永光です。計画停電が見送られた、今日は木曜日です。先週末にガス欠寸前の車に、ようやく給油が出来てホッと胸をなでおろし、バタバタがようやく落ち着いて、ゆったりとキーボードを叩いています

す。大分花粉が多く飛んでいるようです。気づけば季節はすっかり春になっていたようです。さて、短いようで長いようなあの日から数日間、皆さんはどのように過ごされたでしょうか。今回の震災で、全ての日本国民に対して「復興」という目標が与えられ、同時に多くの問題が提起されました。政府の危機管理体制やマスクの対応、人災とも言われた原発の問題など、

決して後世に残せない課題ばかりです。

そして、私たちの身の回りへの影響は、意識の変化をもたらしています。停電がこんなにも不便だって、想像できませんでした。エコだエコだと言っても、相当量の電気を無駄に使っていたことがこの停電騒ぎで分かった気がします。蛇口をひねれば水が出るのがなんて幸せなことかと、一週間ぶりに水が出た被災地のエピソードを聞いて思いました。オイルショックさながらの買い占めも、私が生まれる前のデマ話だったはずでした。

こんな情勢にあって、私たちに何が出来るとか、皆さまもそれぞれのお仕事、役割を通じて、何が出来るかを真剣に悩んでいらっしゃると思います。私たちは『今年一年』を考えるだけなのに、ほとんどの時間を費やしました。早い話が仕事に手が付かなかった訳です(汗)。

私たち「感動・創庫」「いせはらポスト」にできること、それは、これまで以上に「お客様の利益向上を最優先に、事業を継続すること」です。広告は日本経済に対して、直接的な効果をもたらすことはできません。広告に出来ることは、購買意欲を高め、消費行動を促すこと。たったこれだけです。しかし、広告無くして、この世のどんなご商売も成り立ちません。今回の計画停電ではありませんが、ご商売における広告は、電気とまったく同じ性質のものだと



思います。無くても今スグどう
になつてしまふ、ということ
は無い。しかし、それが無いと、
どれだけ日常生活を翻弄され、
この先がどんなに不安なこと
でしょうか。

ですから私たちは、クライア
ントの皆様へ絶え間なく電力
(まず反響、そして売上と元氣)
を供給し、どんどん利益を出し
てもらい、その結果、日本經濟が
元氣になることが、復興という
目標に対しての答えであると考
えます。

元氣があれば 何でもできる

(アントニオ猪木)



→コレ、真理だと思えます。

今の不謹慎&自肅ムードを打
破できるとしたら、それは私た
ちの創る広告であると、信じて

疑いませぬ。生活者を元氣にす
るのは、反響広告のチカラ。デ
ザイン+メッセージです。私た
ちは決して下を向かず、明るく
元氣に、喜んでお客様のために
働き、出来る限りこの国の復興
に貢献したいと思えます。

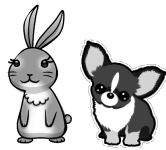
一步一步確実に、少しずつで
すが日常が戻ってきています。
元氣を出して行きましようね。
「つるのおんがえし」もアクセル
全開で行きますよ！あ、節電
はもちろん忘れずに、ですね。



最近のボクの元氣の
源。それは、ガストの
「箸でも切れるビー
フシチュー」と、最近
買ったアディダスの
スニーカーです！

今月の事務所の様子

サラ&ミック



うわあ！まぶしい！

これこれ！停電になると
この人間が探さのよ～
そんなにスゴイのかしら？
私は、全然平気。真っ暗でも、
トイレに間違えぬで行けるしね。

電池式ライト

家の前にミックが！
そ～と行って
驚かせちゃおうかなあ

はいは～い、
寝たのよ。
どうしたの？

サラの家



ミック

最近、サラが好きなミック。
家の前で、中の様子を伺ってます。
サラがいなくなると、
家の前で、待ち構えています。

うさぎのこの姿勢は、
リラックスしている証拠らしい。
サラの家の前って、
そんなにいいの？



びろ～～～ん



今日も仲良しの2匹です。

ポスティングで「元気」をお届け！ 私たちがこの街を盛り上げて行きます！

震災後にもかかわらず、逆境をバネに奮起されるお客様が、一人、また一人と増えてきました。伊勢原の街に活気を取り戻そうと頑張るお客様の想いに、私たちは「一軒一軒、気配り手くばり」でお応えしています。

ガレージで車を磨いているお父さん。黄砂やら花粉やらが多く飛んでますからね。「こんにちは〜！」と元気にあいさつをしたところ、手を上げて「おおっ、ご苦労さん！」と私以上のお元気な声。ポスティングは決してコソコソせずに、図々しいくらいがちょうどイイ！

不安そうに家の前で話をしている2人のお母さん。やっぱり地震の話題なのかなぁ。手渡したお寿司屋さんのチラシを見て、「あら！夕飯どうしようって思ったから、ちょうどいいわ」と思わずニッコリ。こちらが元気を頂きました。

ポスティングってやればやるほど、街の様子が見えてくるんです。お子さんがいらっしゃるお家。良く吠える犬がいるお家。家の前で野菜を売っているお家。庭先でおばあちゃんがひなたぼっこしているお家、などなど。その場所になじむほど、同じ時間にチラシを待っている人が現れたり、犬が慣れて吠えなくなったり、地域の人々と顔見知り以上の関係になるんです。野菜やお花をもらったりすることもあるんですよ。

私たちの一步一步が、街の日常を取り戻して、少しでも活力になることを願って、今週もお仕事お仕事っ！！



これぞフルマラソン完走者の
健脚でございま〜す！



ポスティング、
頑張ってます！



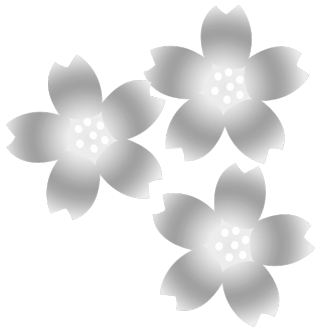
心に響く感動の格言

難が無い人生は

無難な人生

難が有る人生は

有り難い人生



Words by 斉藤理恵

「筆談術」で銀座のナンバーワンホステスになった斉藤理恵さん。今、誰もが抱える困難。そこに向き合うための強さと、心休まる優しさがある言葉だと思えます。

編集後記

こんにちは、涼子です。私は今回の地震で直接影響がない地域に住んでいますが、なんとなく周りの皆も元気がありません。お店も普段通りの営業をしている所は、まだまだ少ないです。このままだと、経済が止まり、今よりもっと大変なことになってしまいます。お店や会社が続けられなくなり、職を失う人も増えてしまいますよね。被災地にはない私に、今できること。それは、やっぱり普通の生活を送ること。しっかりと仕事をして、稼いで、消費して、募金です。そこで、半分はこじつけになりますが、一年くらい前から欲しかったソーラー電波の腕時計を購入しちゃいました。腕時計は好きだったので、ここ3年くらいしてなかつ

たんです。やっぱりいいですね。電池交換がいらぬこと。ぴったり時間が合ってること。今となつては、もっと早く買えばよかったと思うくらいです。他の消費ですが、前より少し多めに外食に行っています。あとは、美容室にも行きましたよ。前よりもっと短くしました！テレビを見て、事務所にこもって仕事していると、だんだんと暗い気持ちになって、いろんなことを考えてしまいます。でも外に出ると、みんな明るく元気で働いているなあと感じ、ほっとし、元気をもらっています。私も頑張らなくちゃ！そう思っています。

たんです。やっぱりいいですね。電池交換がいらぬこと。ぴったり時間が合ってること。今となつては、もっと早く買えばよかったと思うくらいです。



小さく丸まってみました。

ハナの仲良しのお友達
ゴロは同級生。
デカさが違い過ぎる...
同じ犬なのにね~。

今月の長男ハクのひとりごと